No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
1	<p>(1) 基本理念の(2)について 「～人材が育つ、」までと「人と人のこころのふれあいがある」までとはどのような関係になるのでしょうか。また、多くのことを盛り込んでいるためと思うが、項目名が内容をカバーし切れていないと思われる。</p> <p>(2) まちづくりの基本方向について (2)に「環境にやさしい」、(6)に「やさしい福祉」とある。”やさしい”という言葉が、近年、流行語のように使われているが、意味が曖昧である。 (4)(5)(6)は、相互に関連性があり、この三つの分け方について検討が必要である。</p>	総論
2	<p>総論は「賛成・各論は保留」背景・現状把握の経緯不足、問題点、直対策的先行走りを懸念する</p> <p>1 素案策定の「背景」に付いて 第6次策定の構想を取り組むにあたり、どのような背景のバックグラウンドを捉え基本構想としたのか、背景の把握に至る経緯が素案策定構想に見えていない</p> <p>2 青梅市の「現状把握」に付いて 素案策定推進に当たり、青梅市の社会構造、環境、を含めて、行政は大所高所の大局から、市の現状把握で捉えた現状分析、総括がなされているか呈したい 総合長期計画管理（PDCA）徹底した確信を持たないと、素案推進の目的が、圧力や声が大、根回し等の干渉で、なし崩しに計画が薄められ、目先の対応・対策に走り、計画目標が損なわれ透明性も失われる危惧を感じる 「事例、市民から行政に寄せられる日常の苦情・要望・提案・提言・改善等の声を、市の現状把握に統計的管理が成されているか、3つの基本理念5つの視点10の基本に寄与されているか」</p>	総論
3	<p>まちづくりの基本方向の</p> <p>(3) 次代を担う子どもをみんなで育むまち そのためには、ぜひ児童館を作ってください。のびのびと、指導員のもと活動ができる児童館をぜひ作ってください。</p> <p>(4) 文化・交流活動がいきづくまち となりの羽村市の生涯学習センターでは無料の演奏会や講演会が取り組まれ、私も時々参加しています。しかし、青梅市では、そのような企画はほとんどみられません。「文化」を本当に大切に、市民が享受できる施設やその機会を作りたいと思います。また、就学旅行への補助もありません。ぜひ補助してください。</p> <p>(6) やさしい福祉のまち</p>	<p>子育て支援の充実 生涯学習の推進 学校教育の充実 社会保障の充実 公共交通の充実 高齢者福祉の充実 スポーツ・レクリエーションの充実 予防・健康づくりの推進</p>

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>これから、どんどん高齢化が進み、高齢者にやさしい町こそ、福祉のまちと言えるのではないのでしょうか。この4月から国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者の保険料がすべて値上げされました。少ない年金から天引きする仕組みは青梅市だけではなく、国の仕組みにあるわけですか？ぜひ、真の意味での福祉のまちにしてください。</p> <p>コミュニティバスをぜひ走らせてください。</p> <p>市役所や青梅総合病院などを通るコミュニティバスを走らせてください。</p> <p>「買い物難民」をなくす、具体的にはどういう手だてをとっておられるのでしょうか。</p> <p>60歳からかんばんの宿おうめに2泊まで3000円の補助金がでていたのを今年から65歳からとのこと。なぜこのような少額の福祉の切り捨てをなさるのですか。</p> <p>ぜひ温水プールを実現してください。</p>	
4	<p>とても賛同できる事が多いと思います。</p> <p>私なりに考えた意見として、青梅道五十三峰2DAY登山大会開催計画についての提案</p> <p>魅力ある青梅の山々を市内外にアピールして、より多くの方々に知って頂き、また本格トレイルランナーから親子連れやお年寄りを含む我々草ハイカーまで誰もが純粋な山歩きを楽しめる言わば青梅マラソンの登山版のような、そして山バカにはたまらない壮大な大会の、年に一度の開催を提案致します。永年市民マラソンを成功させている青梅市には大会運営の蓄積されたノウハウがあると思います。狙いとしては 市民の健康増進と郷土愛涵養、青少年の体力向上と心身鍛錬、登山人口の裾野拡大、自己の限界への挑戦 自然保護の啓発 観光客誘致による地元経済効果です。名称は東海道五十三次に因んでおり、翌年の雪辱を期せるように敢えて厳しいコースになっていますが完歩できた暁には大きな達成感と満足感が得られる事と思います。開催に当たっては登山道の整備が不可欠で、地主さんの了解や、近隣住民の理解など様々な障壁がある事と思いますが是非ご一考頂きたく宜しくお願い申し上げます。</p>	スポーツ・レクリエーションの充実
5	<p>市の財政と同じに市民の財政も大変です。値上げに頼る市政はやめて下さい。市の運営と経営とみることに不安を感じます。</p>	行政運営の充実 総論
6	<p>概論として、素案全体から龍頭蛇尾の感がいなめない。「まちの現状認識と課題」にたいして短期といえる「十年後のまち」の内容としては抽象的であり、具体性に欠ける。可能な限り具体的に到達目標を示さなければ、安心、安全が実感できない。一市民としてそれを望みたい。</p> <p>「10年後のまち」のなかに「受益者負担」「自助、共助、公助のバランス」</p> <p>(この表現の現実自己責任・自助を意味してきた)「給付と負担のバランス」などが各所で強調されているのは気にかかる。格差の拡大、社会的不合理が広がるなかで個人の力だけでは解決できない時代に入っているところに深刻さがあり、従ってより大局的に基本的人権、生存権の保障など憲法の立場に立たなければ、これまでの延長線上にとどまり、真に市民の立場に立った発想は生まれてこないのではなからうか。</p>	総論 人権尊重・平和社会の確立 工業の振興 市街地の整備

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>都は多摩地域産業交流拠点を八王子としている。青梅市開発計画の見直しを。</p>	
7	<p>「自律的かつ継続的に経営的観点をもって推進するための総合指針」と書いてありますが、市は会社経営と違いもうけるためのものではないと思います。</p>	<p>総論 行政運営の充実</p>
8	<p>市政全般に課題として表されているが、憲法に基づき平和、人権を守っていくことが書かれていないので一市民として心配です。</p>	<p>総論 人権尊重・平和社会の確立</p>
9	<p>「厳しい時代を乗り越え発展を目指す指針」の「厳しい」内容は「人口問題や長引く経済の低迷」ですが、その捉え方が受身のためでしょうか、対応する施策に「市全体が一丸となる」意気込みを感じられません。今日、国政と市政は密接につながっています、国政に関わる問題として避けずに示してほしい。</p> <p>少子化では、若者の雇用制度・低所得化の改善で結婚できない状況無くし、保育待機児童の解消（「多様化する保育ニーズに対応」以前に）、教育費負担の軽減等で「安心して産み、育てられる環境」をつくるのが対策となるでしょう。</p> <p>高齢化はむしろ喜ばしいこと。「生産年齢」を超えても、健康である限り働きたい人は多い。健康を守り、働く機会を確保する施策を。医療や介護は重度化しないように軽い段階で対策を。生活道路は狭く、坂道が多いまちです、歩行者に優しい道路環境の整備は、出歩きたい高齢者だけの望みではないようです（不要不急の幹線道路よりも）</p> <p>雇用を続けようと奮闘している中小企業の支援は重要です。全国の自治体で工業団地を造成し、企業誘致に多くの税金を注ぎ、失敗した例は数多くあります。青梅IC北側地区の物流拠点は疑問です、西東京工業団地と三ツ原工業団地の検証・評価はどうでしょうか？</p>	<p>総論 子育て支援の充実 学校教育の充実 予防・健康づくりの推進 雇用対策の充実 道路網の整備 工業の振興</p>
10	<p>1. 自然を大切に緑多い青梅残してほしい。東地区は畑だったところに、どんどんと住宅が建てられていく。残せる方法はないのでしょうか。</p> <p>2. 自然豊かな青梅に高層の建物はいらぬ。どこからでも奥多摩の美しい山々が望めるよう高さを規制してほしい。特に多摩川沿いの高層建築は禁止していただきたい。</p> <p>3. 子どもたちが安心して生活できるまち、高齢者がいつまでも元気で暮らせるまちの施策を望みます。</p> <p>4. 野上や大門に以前市営住宅だった土地がそのまま空き地になっている。いずれ売却すると聞いていますが、その土地を利用して、児童館と敬老館を建設していただきたい。</p>	<p>自然環境の保全 都市景観の保全・創造 子育て支援の充実 青少年の健全育成 高齢者福祉の充実</p>
11	<p>少子高齢化が進む昨今、人間に癒しと潤いを与えてくれる猫たちと高齢世帯・高齢者を結びつけ高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って、安心して元気に暮らすことのできる環境づくり、共生を推進して戴ければと思います。我が家では子育ても終了し、保護猫3匹の里親をしております。子は謎と申しますが正に猫は謎の状態が穏やかに、そして幸福に暮らしております。傍らで不幸な捨て猫、野良猫のない地域社会を切望しております。</p>	<p>環境衛生・環境美化の推進</p>
12	<p>基本理念をもとに、基本方向を定め、5つの視点から隅々に至る配慮が伺える10項目の基本構想、素晴らしいと思います。</p>	<p>総論 市街地の整備</p>

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>具体的な施策整備はこれからですが生活環境が整備され、より快適な青梅市に発展する事を願い期待します。</p> <p>現状の現象を見ていると、疑問に感ずる事が多々あります。先ず一つには、青梅の玄関口でもあるJR青梅駅に降り立ったときの、雰囲気は歓迎できるものではありません。二つ目には、原付自転車のナンバープレートについて、青梅の誇れる「アイデンティティ」は何なのかを再確認し、良質で普遍性のある共感の持てる「青梅ブランドの構築」も重視すべき大切な街づくりの視点です。成熟社会と言われる新時代の到来です、面白半分の繁雑低俗な都市化ではなく、健全で明るい、青梅ならではの質の良い、快適なシビックな生活環境づくりを心から願っております。</p>	都市景観の保全・創造
13	<p>先ず、市民として基本構想素案に全面的に賛同いたします。但し、基本理念の優先順位は(1)(2)(3)を逆転させていただきたいと思えます。安全があって、その上で、人の助け合いや絆が生じて文化を築き、それを享受できる町のあり方を望みます。昨年の大きな天災(パニック行動、放射能拡散、風評などの2次的人災まで被害を拡大)でも、安全無くしてはその他全てを失ってしまうことが分かるでしょう。さて、今回の10年計画ですが、この立派な基本方向の具体的な提示や実行は、各分野の専門家と多くの市民の協力を得つつ、前倒しにしていくことを切に望みます。(先送りでは計画倒れになる)勿論、市民として微力ながら協力させていただきたく所存です。</p>	総論
14	<p>まちづくりの基本方向10、どれもが素晴らしい構想案であり現実に向けて市民の1人として協力出来ればと考えています。青梅市の観光施設について、考えがなかった様に思いましたが...</p>	総論 観光の振興
15	<p>(3) 次世代を担う子どもをみんなで育むまち</p> <p>そのためには、ぜひ児童館を作ってください。羽村市や福生市、あきる野市には児童館があり、放課後子どもたちが指導員のもと、生き生きと楽しく安全にすごしています。</p> <p>(4) 文化交流活動がいきづくまち</p> <p>羽村市の生涯学習センターでは無料(又は低額)の演奏会や講演会が催されています。「スポーツ、レクリエーション活動を楽しめるように」というなら、ぜひ市民センターの施設の有料化を撤回していただきたい。</p> <p>(6) やさしい福祉のまち</p> <p>この4月から国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者の保険料が全て値上げされました。これは国が負担額を減らしたことに原因があることはわかりますが、不用不急の道路建設や青梅インター周辺の開発などをやめれば、市独自で市民の負担を軽減できると思います。</p> <p>(追加)(3)に関連してのことですが青梅市は中学3年生(2年生?)の時に行われる修学旅行への補助を行っていません。今、教育費がかさむ中親御さんの負担は非常に大きなものがあります。それが日本の少子化の一つの要因になっていると思います。せめて、義務教育は無償をめざしてほしいです。</p> <p>これからの高齢化社会にむけ車を運転する人もやめる人もできます。ぜひコミュニティバスの運行をお願いします。</p>	子育て支援の充実 スポーツ・レクリエーションの充実 行政運営の充実 社会保障の充実 工業の振興 市街地の整備 学校教育の充実 公共交通の充実

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
16	<p>青梅の良さを生かした青梅独自の教育の充実と推進 「学校と家庭は教育と躰の基本」 学校と親が手本となるべき</p>	<p>学校教育の充実 家庭教育の充実</p>
17	<p>第1章の5「本市の特性」(4~5ページ)の部分。評価と課題の間にギャップがありすぎると思います。「市民が文化やスポーツを楽しむことができる環境が整っています。」「高齢者に優しいまち、お年寄りを大切に作るまち、というイメージが定着しています。」などです。</p>	<p>総論 スポーツ・レクリエーションの充実 高齢者福祉の充実</p>
18	<p>市民の生活を支える姿勢に欠けている。「まちづくりの基本方向」を実現するには、国、都に対し、「ものを申す」市民の立場に立った強い市政基本計画が必要。</p>	<p>総論 広域行政の推進</p>
19	<p>基本構想素案の中に憲法を守り、憲法の視点を実現することや、平和の視点が全くなく、市政に不安を感じる。市政についてはもっと市民参画の施策を進めることをもっと重視し打ち出し、「総会計画審議会メンバー」についても、公募市民をもっと増やすべき。又、有識者についてももっと青梅市在住者を登用すべきである。開発優先でない、市民の暮らし優先、保険料、税金引き下げの市政の方針を打ち出してほしい。</p>	<p>総論 人権尊重・平和社会の確立 協働・連携の推進 行政運営の充実 社会保障の充実</p>
20	<p>・「～市政運営を自律的かつ継続的に経営的観点を持って～」とありますが市政を経営的観点で運営されるのは困ります。 ・憲法に基づくことや基本的人権の尊重、児童福祉法に基づいて等のことばがないのは何故ですか？入れて下さい。</p>	<p>総論 人権尊重・平和社会の確立</p>
21	<p>5.本市の特性 教育・文化・芸術・スポーツにおいて 市民が文化やスポーツを楽しむことができる環境が整っています。 (高齢者がスポーツを楽しむには、総合体育館のように専門的運動指導員をつける事が必要です。充実してほしいです。とても環境が整っているとは言えません。) 高齢者のための施設が多いなど高齢者に優しいまち、お年寄りを大切にするというイメージが定着しています。 (施設はあるのですが、優しいまち、お年寄りを大切にするというイメージはありません。)</p>	<p>スポーツ・レクリエーションの充実 高齢者福祉の充実</p>
22	<p>・総合長期計画を作るにあたっては、学者をたくさん揃えて審議するのではなく、住民の声をよく聞いて、市の職員を中心に作っていき、それを学者に検討してもらうようにする。 ・基本理念にうたわれている三本の柱については、良いと思うが、具体的にそれを実現していく政策が大事だと思う。</p>	<p>総論 市民参画・活動の促進 協働・連携の推進</p>
23	<p>初めに、基本理念の部分について三つ程意見があります。一つは(2)の部分です。ここでは「郷土に対する愛着と誇りを持ち・・・」と書いてありますが、これではどのように郷土を愛するかと、ということが分かり難いと思われれます。例えば後</p>	<p>総論</p>

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>ろにある「まちづくりの基本方向」の3と4を持ってきて「多世代交流を通じて、若者と高齢者が互いに支えあい、歴史を通じて郷土に対する愛着を持てるような教育を・・・」というような一文を入れることにより「人と人とのこころのふれあいがあるまち」という理念が市民にとってより身近なものになるのではないのでしょうか？</p> <p>二つ目に、(3)の「安全・安心なくらしが物質的に・精神的に保障されるまち」という部分ですが、「物質的・精神的」の箇所が何を言っているのか分かり難いように感じました。例えば「物質的・精神的を「体と心」と置き換え、「安全・安心なくらしが体と心の両面で保障されるまち」というようにしてみてもいかがでしょうか？</p> <p>そして三つ目ですが、基本理念の中にもう一つ理念を入れてみてはどうかと御提案させて頂きます。これはどういうことか言いますと、例えば住み続けている市民やこれから新しく住むことになるかもしれないまだ見ぬ市民が、青梅に住みたくなる、ずっと住み続けたくなるような、そしてこの青梅で次世代に渡って子どもを産み育てていきたいとなるような、そんな市を作るために「次世代への教育」をしっかりとしていくということ、青梅市としての“攻めの戦略”として打ち出してみてもどうでしょうか？</p> <p>三つの理念だけでは少し次世代への教育という観点が抜けているように感じました。この際、四本柱の理念にしてみてもいかがでしょうか？</p> <p>少子高齢化社会においては福祉と教育両面でのより充実した施策が求められます。子どもから高齢者まで住み続けたいと思えるような市を作るための理念が必要かと思えます。</p> <p>それとこれは上記の理念についての意見とは別のことなのですが、「第6次青梅市総合長期計画基本構想素案」という名称に替わる何か新しい名称を公募されてはいかがのでしょうか？</p> <p>と言うのも、この「第6次青梅市総合長期計画基本構想素案」という名称は少しばかり読み難く、市民にとって親しみ難いのではないかと思います。もっと親しみやすい名称を公募し、それを使えば、市民が親しみやすく、また市民が実際に市政に参加していると実感できるようになるのではないのでしょうか？ そうなれば、より市民が市政に関心を持つようになり、自ら問題を解決するために考え、行動するようになると思います。</p> <p>最後に、市の抱える課題をどれだけ解決できたか、市の掲げる理念をどれだけ実現できたかという指標を作り、年に一回市民に公表するという提言させて頂きます。市民の目に見えるような指標があれば、それを基に市民1人1人が市のことを、自分の住んでいる町のことを考えることができるようになるのではないのでしょうか？</p>	
24	<p>(2) 自然と共生し環境にやさしいまちについて</p> <p>市民ひとりひとりの意識を高めるために、ごみの減量、再資源化などの4Rをさらに積極的に広報や回覧などでPRしてほしい。それと同時に雑誌ダンボールの回収日を月に1回から週1ペースまで、もう少し頻繁に増やしてほしい。せっかく分別していてもその回収日までの保管スペース、もしくは誤ってタイミングを逃すととても不便に感じるので、是非実行していただけたらと思います。</p>	循環型社会の形成
25	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が安心して吉野街道で登校できるよう広い歩道など整備してほしい ・車が駐車できる遊具が充実した公園がほしい。 	道路網の整備 公園・緑地の整備・保全

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	・大きな音楽ホールが一つあると良いのでは。	文化・芸術の振興
26	もっともだと思う。しかし具体性に欠ける。	総論
27	何故、計画作成の為に10年もかかるのか理解できない。3年で出来ないのか？国政同様、危機意識とスピード感が欠如している。	総論
28	子育て世代にとって必要な児童館が市内に無い事、ありきたりな遊具ばかりの公園が多い事が気になります。保育所の充実ばかりではなく、家庭保育の児童、年齢の小さい子供が安全かつ安心して遊べる場所作りにも力を入れて欲しいです。現在、観光のメインである梅林がP P Vにより減少していく事になります。梅に頼らない観光資源を強化、更に減少してしまった梅林復活にも力を入れて欲しいです。	子育て支援の充実 公園・緑地の整備・保全 観光の振興 農業・林業の振興
29	正直、この広報おうめの特集号が出ている事も知らなかったです。目を通しましたが具体性にかけているような気がします。幅広い人（若者～高齢者）にわかりやすいような提案書の方が良いと思いました。全文閲覧がある場所、インターネットでできるようにですが青梅市民にとって大切な事なので資金はかなりかかりますが各家庭に配布すべきです。病院、施設（病院、施設を利用している入院患者の家族）、学校、家庭の実際現に事実としてある事の意見を聞きそれから案を出した方がいいと思います。本当の問題点は市の方には伝わっていないと思います。	総論 市民参画・活動の促進
30	自然と共生し、環境にやさしい町にするのであれば、ここ数年、梅の公園周辺、柚木町につづく山がきりひらかれているようで心配です。	自然環境の保全
31	3つの基本理念のもとに10コの柱があり、構成されているというのは、読んで理解できますが、幅広い年齢層（特に若い世代）に、この基本構想、10年後の青梅を伝えたり、若い世代、10年後の青梅を担う世代に、この1枚で伝え意見を募集しても集まらないのでは、と思います。 個人的には、確かに10年後、こんなふうに青梅がかわっていったらいいと思うし、計画の実施予定、期間等も読めば、こんなふうに計画され、施行されていくのかと思えますが、この基本構想案がもう少し市民に浸透し、進めていくには、伝える場などが、広報以外にもあるのですか？	総論 市民参画・活動の促進
32	・「人口減少社会の到来と超高齢化社会の本格化」が課題とあるものの、子育て支援等の記述が少なく感じられました。	子育て支援の充実
33	基本理念や方向性は分かりますが、現状の色々な問題がある中で市が最優先で取り組みたい政策がわかりにくい。又、実現に向けての手法等は今後取りまとめるとありますが、基本方向性については構想段階でも取り組みについての具体例等があるとわかりやすいと思います。構想の段階ではあると思いますが、基本方向の柱が10項目挙げられていますが実施に取り組んでいけますか？（計画してから実行まで）青梅市民である事で利点があるような政策を盛り込んでみては？	総論

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
34	10の基本方向の柱を確認しましたが、各項目で大まかな方向は伝わってくるが具体的な事が明記されていないので良くわかりづらい。	総論
35	基本方向は賛同できます。これを具体化できるような政治をしてほしい。	総論
36	<p>第1章2.計画の役割 経営的観点を持って推進 = 市政運営が営利を目的とするような表現を変える。</p> <p>5.本市の特性 高齢者に優しいまち...というイメージが定着 = どれだけの市民がそう思っているか疑問。 長引く不況の影響や...支出する扶助費等が大きく伸びています。 = 支出の伸びは不況と高齢化だけではなく、国の制度改悪で地方への補助金削減等も大きく影響していることを入れる。</p> <p>第2章2.まちづくりの課題 原子力発電所の事故を機にエネルギー問題に対する認識を改め = の後に原子力に頼らないを加える。反原発脱原発が国民多数。</p> <p>第3章1.基本理念 地域ニーズの変化に対応するため3つの...とし、ここでは厳しい時代は削除する (2)郷土に対する愛着と誇りを持ち = の前に平和を求め人権を尊重しを入れる。3.まちづくりの枠組み (2)受益者負担の適正化などにより = 市民負担増につながる言葉は削除。 市に与えられた...収益事業 = 表現を変える。</p> <p>4.まちのあり方の視点(5)守るべきものと変革すべきものとの整合を図りつつ = 健全な財政運営ということでの表現が分かりづらい。</p> <p>5.まちづくりの基本方向(3)多様化する保育ニーズに対応するとともに = 対応するための保育所や児童館の建設とともにとする。 (6)国民健康保険や介護保険については、給付と負担のバランスを配慮した健全な運営 = 給付と負担のバランスは必ずしも市民にやさしいものではなく、やさしい福祉のまちの項にふさわしくないので削除。 (10)厳しさが増す財政状況を踏まえ...行政経営に取り組みます。 = 市民負担増につながる事が懸念される表現は変える。</p>	<p>総論 行政運営の充実 地球環境の保全 人権尊重・平和社会の確立 子育て支援の充実 社会保障の充実</p>
37	市民の意見や提案について、市民参加で議論を深め、具体的に実現していただきたいと考えます。市民に負担を押し付けるのではなく、日本国憲法に基づき基本的な人権を尊重し、市民の暮らしは市政として責任を持って取り組むことが基本構想に表現されているとよいと思います。	<p>総論 社会保障の充実 人権尊重・平和社会の確立</p>
38	基本構想素案の「まちづくりの課題」(P.10)として「原子力発電所の事故を機にエネルギー問題に対する認識を改め、エネルギー供給源の分散化、再生可能エネルギーの活用に向けた取組が課題となる」とし、「まちづくりの基本方向」に「エネルギー供給源の一極集中を回避するため、再生可能エネルギーや新たなエネルギー供給システムの導入に関する	<p>総論 地球環境の保全</p>

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>取組を進めていく」(P.17) こと大いに賛成である。しかしながら、それを実現させていくためには「豊かな地域資源を生かし」(P.18) 自然エネルギーを地域内で生産し活用する仕組みをつくり出すことが必要である。そのために、自然エネルギー生産工場を地域に作り、それを中心にした地域内のエネルギーの地産地消実現し、関連する産業を作り出す(仕事を創り出す) ことが不可欠である。青梅においては豊かな森林資源を農畜産物活用した木質バイオマス、豊かな水量と流れを利用した小水力発電の活用をぜひとも具体化して欲しい。これらのことを検討するためにも、また事業を進める主体者を支援するためにも市民が主体となった地域協議会の設置が必要である。</p>	
39	<p>快適で文化的な生活が享受できるまちとありますが、高齢者にも使いやすいコミバスもなく、市の公園である若草公園には健康器具も1ヶしか設置してありません。各市民センターも利用しやすくなっていますが、使用料が有料になったり、他の自治体では設置している血圧計の設置もなく、とても快適な暮らしとは言えない状況にあると思うのですが...</p>	<p>総論 公共交通の充実 社会保障の充実</p>
40	<p>計画の役割について</p> <p>行政活動の基本は、日本国憲法ではないですか？</p> <p>市政運営は経営という利益追求型ではなく、必要な福祉・医療・教育・文化・その他、行政がやるべき事はきちんとやる。</p> <p>羽村市等と比べても、住民サービスが遅れていると思います。議会も市職員も全員で計画を作り上げてほしいと思っています。</p>	<p>総論 行政運営の充実 市民参画・活動の促進</p>
41	<p>第5次総合長期計画が市民の暮らしにどのように役立ってきたのか不明確。計画の役割に...行政活動の基本となる最上位計画とありますが、それにしても広報2ページ、説明会もなく大変にお粗末なものと思う。豊かな自然環境は否定するものではありませんが、山林の荒廃、多摩川に流れ込む支流の管理など(例、そば沢への残土廃棄) など目を被うばかりだ。きれいな水を並べるだけでなく将来の青梅を考えた市民の納得するものにしてほしい</p>	<p>総論 行政運営の充実 市民参画・活動の促進 自然環境の保全</p>
42	<p>・「第5次総合長期計画」がどれだけ達成出来たのか、達成状況を市民にわかるような形で教えてください。</p> <p>・これまでの総合計画は内容が多すぎます。市長さんと市の職員と市民が考えて作った手づくりの感じられる「計画」が欲しいです。毎年予算を編成されているのですから、市の職員が中心になって作れない事はないと思います。(計画の裏付けがしっかりしていれば良いのです。) 青梅市は素晴らしい街ですが田舎の町です。青梅市らしい計画をお願いします。</p>	<p>総論 行政運営の充実 市民参画・活動の促進</p>
43	<p>3つの基本理念については賛成です。まちづくりの基本方向については、5つの視点と10の基本方向についても大事な点であり、結構だと思います。</p> <p>しかし具体的な10の柱の中で、施策の方法になると賛成できない事があります。</p> <p>特に(8) 都市基盤整備のところ、インターチェンジ周辺の整備や、幹線道路整備を推進とありますが、これは問題です。農地の保全、緑・自然、住環境を守る立場で、この計画は見直して欲しいです。</p> <p>少子高齢化社会の中で、雇用環境が悪化し、財政状況が悪いのは自治体ばかりではありません。市民の暮らし、営業は一</p>	<p>工業の振興 道路網の整備 農業・林業の振興 総論 行政運営の充実 市民参画・活動の促進 自然環境の保全</p>

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>層深刻です。</p> <p>市政総合世論調査、子ども世論調査の結果を十分尊重して欲しいです。</p> <p>市の財政の使い方をこれまでのような大型公共事業、幹線道路優先に使うのではなく、子育て、教育、医療、福祉、防災、生活道路の整備など、暮らしと営業、自然・環境を守る方向に優先して使うよう求めます。</p>	
44	<p>安心して子供を産み育てる環境づくりのために、多世代間の交流の促進、相談機能の充実を図ることは大事です。そのような場を設定することが急務だと考えます。</p>	子育て支援の充実
45	<p>素案全体を見渡した時、現在の青梅市状況を基本に未来の青梅市の形へときれいにまとめられていると思っております。</p> <p>【将来人口の予測に関連して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 34 年（10 年後）の人口規模 131,000～138,000 人と推定されておりますが、ここ数年の市内周辺企業の状況（リストラ、市外への単身赴任の急増）をみると、市政の方向性設定によって大きく変化するものと思います。ぜひ、生産年齢人口の市外流出を防止する観点からの市政運営をお願い致します。 小曾木、成木、沢井地区の状況を鑑みた時、既に人口流出は開始されており、年少～40 代の人口は急減しております。この傾向は、このまま放置すると市内の他の地域へ広まっていくものと思います。この年齢層がいない地域は、活力低下、生きる力低下、残っている老年人口者の生きがいの低下等あらわになって行くのは他の地域の状況からも明らかです。年少～40 代が住みたくするような市政運営をお願い致します。 	住宅の整備・充実 雇用対策の充実
46	<p>第 5 次基本構想の「基本方向」が 5 つの柱だったのに対し、第 6 次ではより具体的且つ「めざす価値」がわかるように形容された 10 の柱となっており、良いと思います。</p> <p>ただ一点気になるのは、(3)次代を担う子どもをみんなで育むまちで示されている中身です。全体に大人＝親の側からの子育てで論じられている印象です。子どもの育ちを構想するうえで、子ども自身をまちづくりの主体として位置付ける視点が必要だと思いますので、子どもを育てる大人＝親のニーズだけでなく、子どもの生活感覚や社会との関わりという</p> <p>視点から青梅市の子育てのハード・ソフト両面を見つめていただきたいと思います。</p> <p>将来人口の推計資料として福祉政策や社会保障、医療コスト、雇用政策を検討するために重要な指標となる 10 年後の総人口の年齢構成が示されており、10 の柱は、この構成変動がどんなニーズを生じさせ、社会全体をどのように変容させるかを踏まえて導き出されているのかがポイントだと思います。</p> <p>まちのあり方の視点～持続可能な都市を目指す 5 つの視点が示されています。この 5 つはいいと思います。今後の基本計画の議論におけるまちづくりを考えるためのキーワードとして「依存からの脱却」「政策誘導的に市場を形成する」「みんなが価値を共有する」「青梅市民にとって幸せとは何か」を提案したいと思います。</p> <p>地域のコミュニティ活動の支援として、自治会が第一義的に位置づけられているように見受けますが、自治会そのものの機能、あり方、関係性、リソース、情報、組織機構などの再構築も含めた中で、加入率向上やまちづくりの上で果たす役割</p>	総論 子育て支援の充実 協働・連携の推進

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>を検討すべきタイミングに来ているのではないかと考えます。しかし、任意の自治団体という原則がありますので、行政がどこまで関与できるか、難しいことも理解します。</p>	
47	<p>自然くらいしか目に留まるものがないからそれを選ばざるを得ない市民の気持ちを考えてもみてほしい。特に永山丘陵は青梅駅から歩いて数分なのであってむしろ積極的に宅地化を進めるべきで、住民を増やして市税収入を増やし減っている青梅駅乗降客を増やす等の当たり前の政策を取ることが望ましい。</p> <p>また、再生可能エネルギーとして木材チップをあげる人も多かるうが現時点では廃材に対しての競争力がなく数百軒の民家に電力と温水を供給するようなコージェネシステムがいくつも必要であり大規模な設備投資と割高な燃料費が必要になるので長期目標とすべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 輸出産業ではなく社会インフラや内需関連の企業を誘致すべき。再生可能エネルギー分野で大規模な研究所や工場を誘致すべきだ。 ・交通政策 青梅線の東青梅～青梅間の高架複線化を早期に実現すべき。単に輸送力だけでなく速達性や利便性も向上させるべき。JR東日本がやらないならば西武鉄道拝島線の青梅駅延伸を真剣に検討すべき。西多摩地区の鉄道輸送の貧弱さは異常である以上もっと東京都や国を巻き込んで政策を決めていくべき。例えば都営大江戸線を新秋津駅か新小平駅に接続して箱根ヶ崎に接続して青梅駅まで延伸するというような大胆な提案をすべき。 ・地域間競争 新宿、渋谷、中央、千代田、港といった業務地帯から40～45km圏の地域と競争になっているということに自覚すべき。「鉄道が便利だから住みたい」という青梅市にすべき。業務地帯から40～45km圏でも人口が必ずしも減っていないという事実をしっかりと自覚して人口を増やすにはどうすべきかを考えるべき。 ・スポーツ 総合体育館の近くかまたは青梅駅周辺の空き地に温水プールを作ればよい。セントラルのプールは主に小学生が水泳教室をやるのに適している深度のプールであり、少しでも競技を意識すれば別のプールに行かざるを得ない。 	<p>住宅の整備・充実 地球環境の保全 工業の振興 公共交通の充実 スポーツ・レクリエーションの充実</p>
48	<p>地域コミュニティの施策</p> <p>1 「素案」では、地域コミュニティの重要性を指摘し、1) 地域コミュニティの中核=自治会 2) 情報の活用の重要性(ネットワークによる情報活用)などをあげている。しかし、自治会の主要行事は、年1回の運動会や廃品回収などで、これはもっぱら市民の自主活動である。したがって、コミュニティ政策、すなわち行政が実施すべき政策として、「素案」であげている市民センター活動の充実などを挙げるべきである。</p> <p>2 地域図書館と市民センターの協業</p> <p>一般に、コミュニティの文化活動の「中核」として考えられているのは、図書館分館(地域図書館)及び市民センター(公民館)であるが、青梅では前者は教育委員会に、後者は内部部局に属しているため、二つの機関間の活動には連携性がない。地域センター図書室(地域図書館分館)のコレクションの内容は、地域住民の生活に関係のないものが多い。そのコレクションも市の情報政策の一環として位置づけるべきである。市民センター(地域図書館)における快適な市民文庫・集会室の整備は、住民間の絆を強化する第一歩であることに留意すべきである。</p>	<p>総論 市民参画・活動の促進 協働・連携の推進 生涯学習の推進</p>
49	再生可能なエネルギーの問題について	地球環境の保全 子育て支援の充実

No.	基本構想素案に対する意見の概要	対応する分野
	<p>「再生可能エネルギーの流れが強まりました」(P9)「再生可能エネルギーの活用に向けた取り組みが課題になります」(P10)「再生可能エネルギーや新たなエネルギー供給システムの導入に関する取り組みを進めていきます」(P17) と「再生可能エネルギー」の言葉が出てきます。エネルギー政策は国の大きな問題ですが、青梅市としてできる「再生可能エネルギー」を基本構想の大きな柱の一つとして、積極的に推進する立場を明確に打ち出してほしい。</p> <p>少子、高齢化問題について</p> <p>青梅市の年齢構成比がしめされております(P8)。この問題の解決は大変ですが、解決の方針・政策を持たなければならないと思います。</p> <p>まず、子どもを安心して生み育てる環境をつくることです。“子育てなら青梅”といわれるような施策を進める必要があります。</p> <p>お年寄りは、健康で長生きしてもらうためにも、誰でもが気楽に交流できる場を設け、医療費、介護費の削減につなげる必要があります。</p> <p>青年労働者が利用しやすい低家賃の住宅の建設、または、民間の住宅を市が借り上げ斡旋し、定住化を図り、青年労働者の人口を積極的に確保する努力が必要です。</p>	<p>高齢者福祉の充実 住宅の整備・充実</p>
50	<p>(1) 基本理念に関して</p> <p>文化的な生活や人と人のこころのふれあいがあるまち、安全・安心のレベルアップが図れたくらしの実現とありますが、地域経済なども視野にいれ、「地域経済活性化により安全・安心を担保する税収の確保」、「新たな産業の創出と地域循環経済の確立による持続ある街の発展」、「安心して子育てできる環境と雇用機会の創出で子育て夫婦が住み、働けるまち」の3点についても基本理念に取り入れていただきたい。</p> <p>(2) 人口について</p> <p>推定人口が標記されていますが、そのままでもなく青梅市としては10年後も14万人で変わらないようにするなど、目標が必要と考えます。</p>	<p>総論</p>

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
1	<p>(1) 学校の先生方が意欲的、主体的に使命感を持って教育活動に精励するような施策</p> <p>公的な役割として、学校教育の充実活性化が特に重要である。そのためには、先生方の教育実践力を高めることが最も重</p>	<p>学校教育の充実 環境衛生・環境美化の推進 情報化の推進</p>

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	<p>要であり、教育研究活動を活発にするような方策が必要である。</p> <p>(2)(基本方向の(1)(2)に関して)</p> <p>二つ塚のゴミ(焼却灰)処理場に関する積極的な情報提供の施策</p> <p>二つ塚のゴミ(焼却灰)処理に関する情報は少なく、健康への影響について不安である。</p> <p>(3)(基本方向の(9)(10)に関して)</p> <p>情報通信技術活用の知識技術を一般市民へ伝達するための施策</p> <p>(10)にある「情報通信技術の活用」は今後ますます重要になる。高齢者にとっては、せっかくの情報が生かされないままに過ごしてしまっている状況もある。生活の道具となり、市民参画の窓口ともなるので、情報通信技術活用の知識技術を一般市民へ伝達するための施策が必要である。</p> <p>(4) 市民の顕彰に関する施策</p> <p>永年地道に努力して市内の産業振興や文化向上に尽くしている方々がおられる。そういう地道な努力に光を当てる施策が必要である。</p> <p>(5) その他、青梅市の将来像に関する施策など</p> <p>青梅市が発展するためには何を伸ばすか、何が青梅独自の魅力的なものを、市としてしっかりとらえて市の将来像を描き、そのための施策を重点的に進めていく必要がある。</p> <p>JR青梅線を守る施策</p> <p>青梅を発展させることが青梅線を守ることにもつながる。JR青梅線を維持発展させる施策を求めたい。</p> <p>多摩川に沿った遊歩道の整備(既に計画があると思いますが)</p> <p>御岳の上流から羽村の堰までつながった遊歩道を整備し、散歩やハイキングのコースとして楽しめるようにする。途中の博物館や美術館などの諸施設ともつながりができて、それぞれが生きてくると考える。市民の体力向上、健康増進のためにも有益であり、市外からのリピーターも多くなると考える。観光青梅の一つの目玉になると考える。</p> <p>自転車専用道の整備</p> <p>奥多摩から青梅まで下りであり、自転車でのツーリングに適していると思われる。しかし、道幅は狭く危険性も考えられる。可能などころだけでも自転車専用道を整備し、カヌーとあわせて、自転車も楽しめる青梅にする。今後、自転車を楽しむ人は多くなると考えられる。</p> <p>長淵丘陵のハイキングコースの整備</p> <p>長淵丘陵においても大荷田方面の生活道路なども生かしながら、コースの延長、トイレや休憩所の整備などを進めて、多摩川遊歩道などともつながったハイキングコースとして整備すると、市民に親しまれ日常的に活用できるようになる。</p>	<p>協働・連携の推進 総論 住宅の整備・充実 公共交通の充実 観光の振興 道路網の整備 スポーツ・レクリエーションの充実 観光の振興 自然環境の保全・都市景観の保全・創造</p>

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	<p>御嵩山の魅力を高める施策</p> <p>御嵩山は、都民に親しまれている山である。奥多摩の山を巡る起点となるところであり、また、歴史的な文化財や貴重な野草などの植生にも触れることができる。登山道の整備や御獄山の魅力の広報宣伝活動などの施策が必要である。</p> <p>多摩川の景観を守る施策</p> <p>そのために、川岸や河岸段丘の崖線の植生の維持管理などの施策を充実することが必要である。現在の景観を守る施策が必要である。</p>	
2	<p>(1) 行財政改革</p> <p>「行財政改革」は人の意識を変え、組織の活性化へ「意識改革」の理解活動をはかる</p> <p>市政は、「行財政改革」なくして論説は語れない課題、行政の停滞感、自らの感覚は、樹を観て森を見ず、組織風土、慣習に流された組織体制になる</p> <p>市民は役所の官僚制システムを指摘、マンネリ化は打破して活性化に努めなければならない</p> <p>行財政の組織運営の活性化は、要となる、理事 議員・職員 ボトムに至る組織築く人である、職種に捉われず徹底した「意識改革」に取り組み、自覚心、貢献意欲が持てる人材育成、資質 創造性 感性 積極性を育む。「意識改革」なくして「行財政改革」はあり得ない、「意識改革」に聖域はない。共通の改革事項、質の高い「行政サービス」、開かれた「行政」に寄与する人材育成の活性化を強く望む。</p> <p>(2) 青梅スタジアム運営</p> <p>青梅スタジアム、今後の運営存続を見極め、青梅市の振興発展に寄与する見直しを図る。市民に対してアピールした利用がなされていない、効果的活用の仕組みが不明。運営に関わるコスト開示されず、どの様に管理されているか、経営感覚は感じ取れない。</p> <p>スタジアム利用は市民団体の活用等に留まり、一般市民が利用できる施設ではない様に感じる。</p> <p>(3) 歩道の「安全安心の環境」と「景観」美化</p> <p>明るいきれいな環境歩道、安心安全の歩道、景観の環境美化を推進する</p>	<p>行政運営の充実 道路網の整備 都市景観の保全・創造</p>
5	<p>二俣尾三田地域には子ども達の遊べる施設が少ないので自由に遊べる広場を作って下さい。</p> <p>青梅以西の電車をふやして下さい。</p> <p>小中学校の給食放射能が心配です。しっかり検査をして下さい。</p>	<p>子育て支援の充実 公共交通の充実 学校教育の充実</p>

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
6	<p>世界経済の不況、グローバル化のもとで、利益優先の企業が海外移転（中小企業も）の流れが生まれている。雇用の7割をしめる中小企業への支援対策は国政、地方政治で抜本的転換が求められる問題である。それを踏まえて従来の延長線でのりこえた青梅独自の構想をもとめたいものである。</p> <p>その上で一つは安心安全の福祉、医療、教育、子育ての社会保障を重点に据えてほしい。</p> <p>二つは財源が必要である。国政、国の制度によるところが多い。国、都に積極的に物を言い、改善を求める姿勢をとること。市民のなかには青梅は住みにくいという声も少なくない。青梅の特性を活かすこと当然のことであり、今回の基本計画が市民が共感し、協力できる計画となることを願う。</p>	<p>雇用対策の充実 総論 健全な財政運営の確立 広域行政の推進</p>
7	<p>将来人口の減少がはじまっていると思います。子育てしやすい市としてぜひ児童館を作って欲しいと思います。安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めているのですから、ぜひ実現を。</p>	<p>子育て支援の充実</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保全を細部に渡り調査、改修を望みます。 ・保育園・学校給食の放射線量の測定を行う。 	<p>子育て支援の充実 学校教育の充実</p>
10	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青梅市で出産できる場所は総合病院1ヶ所だけとなっている。安心して子どもを産める産院を増やしていただきたい。 2. 保育園に入れないうちの待機児童が多いと聞いている保育園を改築する時に定員を増やす方法でやっているが、それでは保育園の規模が大きくなるだけ。それよりも待機児童の多い地域に保育園を造っていただきたい。 3. 高齢者が元気で出かけられるよう、コミュニティバスの運行を早期に。 4. 圏道のインターチェンジに物流センターを建設するとしているが、物流センターは近隣にたくさんある。新しく造っても誘致は難しいと思われる。耕作地を残して自然豊かな利用法を考えていただきたい。（貸農園と道の駅を提案します） 	<p>子育て支援の充実 医療の充実・市立総合病院の健全経営 公共交通の充実 農業・林業の振興</p>
11	<p>室内飼いを基本とする猫を高年齢世帯・高齢者に里親となって戴き、第二の子育てをして戴くプログラムを提案いたします。犬と違い、散歩を必要としない猫は高齢者の方でも十分に飼育でき、その中で生きがいを見出して戴ければと思います。</p>	<p>環境衛生・環境美化の推進</p>
13	<p>安心・安全の視点で、これまでの施策を明確にし、更に見直してください。その着眼点は、「関連する事象の変化」です。例えば、交通量の変動、地球環境の変動といったようなもの。</p> <p>高齢・障害者は必ずしも生活弱者ではありません。用語自体もよろしくありません。それらに関係なく資源となりうる人（能力）は、有効活用するようにして下さい。</p> <p>青梅市にて高度な医療サービスが受けられればありがたいが、今後増えるであろう患者の適切な受け入れ体制を確立して下さい。</p> <p>生活基盤が確保された後、人らしく生きるに大切なものは、自然（保護）と、人々の交流である文化（活動/遺産保護）</p>	<p>総論 高齢者福祉の充実 医療の充実・市立総合病院の健全経営 自然環境の保全 文化・芸術の振興</p>

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	<p>です。これまで以上に、それらの積極的な取り組み（人々への働きかけ）をして下さい。</p> <p>* ここでの人々は、何も市民のみではありません。</p>	
14	<p>(4) 文化交流活動がいきづつまち</p> <p>軽いスポーツをしたくても近くにゲートボール場もなく、何の施設もないのが現実です。自然の山の中に是非市営のマットゴルフ場を作って頂ければと考えます。</p>	スポーツ・レクリエーションの充実
16	<p>商店街の魅力向上（旧青梅街道）</p> <p>空店舗対策と活性化</p> <p>映画看板や昭和レトロだけでなく若者や地元の人達がショッピングや散策できるような魅力ある街にすべき</p> <p>対策</p> <p>1) 現在営業している店舗の喚起</p> <p>2) 低家賃で空店舗を貸し出す（市内外からやる気のある人を募る）</p> <p>市と商工会議所が中心となって環境づくりすべき</p>	商業の振興 市街地の整備
17	<p>50年ぶりに故郷青梅に帰って来ました。8年前のことです。一番に感じたことは、町に活気、賑わいがないな、ということでした。勝沼の踏切から日向和田の駅前までの街道にです。とりわけ青梅駅周辺です。いま打開すべき重点的な課題だと思います。昭和レトロの街（それが青梅駅周辺の21世紀の町だとするならば）を、私権を保護しつつ、住民の合意形成に今取り組むべきだと思います。新町原の町は、今様の町としての顔を持つのでしょうか。</p>	商業の振興 市街地の整備
18	<p>まちづくり基本方向（1）から（10）を実現するには、まず人、命、健康の順に。「基本理念」にはいいことばかり言っているが、市民に対する態度も親切にして。</p>	総論
19	<p>・「国民健康保険や介護保険については、給付と負担のバランスを配慮」ではなく、“保険料を引き下げよう努力します”であるべきである。私は現在年金者であるが、日々暮らしに不安を感じています。</p> <p>・3.3.24号線（根ヶ布長淵線）などの開発は中止して、市民の暮らし優先（国保料引き下げなど）に税金を使ってほしい。</p> <p>・子育て教育にあたっては、青梅市だけにはない児童館を建設してほしい。</p> <p>小中学校のすべてのグラウンドにスプリンクラーを設置してほしい。子どもの健康にも又地域の洗濯物汚しにも困っています。</p> <p>・30人以下学級を国に行うよう又、それまで市独自で行うよう市議会決議をしてほしい。</p>	社会保障の充実 子育て支援の充実 学校教育の充実

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を聞く日程が短すぎ。延ばして欲しい。 	
20	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子どもを産み育てられる環境の具体化を入れて下さい。 ・若い父や母が住んでみたいと思う施策が入っていない。 ・行財政運営ができるまちの中で「歳入確保に徹底して取り組み～」とあるが何でも有料化しサービスを低下させ市民から搾り取るというイメージがあるがそうか？ ・幹線道路の整備とはどこですか？これ以上道路はいらない。 	子育て支援の充実 行政運営の充実 総論
21	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に入所できない子どもたちをなくすため、認可保育園を増やしてほしい。 ・児童館を作って、子どもが安心して過ごせるようにしてほしい。 ・高齢者、安心して健康維持できる運動施設を市民センターごとに作ってほしい。専門家付無料で気軽に参加できるようにしてほしい。 ・大企業・富裕層への税金を増やすよう国に働きかけて下さい。 	子育て支援の充実 スポーツ・レクリエーションの充実 総論
22	<p>(1)では、東青梅駅の整備は入っていないが、市役所のある玄関口としてもっと、明るくきれいで使い易い駅にし、特に北口エレベーターを早急に実現してもらいたい。又、高齢化に伴い、コミュニティバスを走らせてほしい。</p> <p>(2)太陽光発電設置の補助を増やしてほしい。</p> <p>(3)保育園に入れない子が出ないように、認可保育所を増やしてほしい。</p> <p>(6)国民健康保険料や介護保険料の負担が大きすぎる。もっと下げてほしい。</p> <p>(7)道路については、関係住民の声をよく聞いて、必要もない開発はしないようにする。</p> <p>(9)市民センターの利用を有料化したのはコミュニティ活動の活性化に反する。無料に。</p>	公共交通の充実 地球環境の保全 子育て支援の充実 社会保障の充実 道路網の整備 市民参画・活動の促進
23	<p>より重点的に取り組むべき施策は(4)の「文化・交流活動がいきづくまち」だと思います。理由は自分の生まれ育った国、地域、町の文化や歴史を知っているということは真の国際人として一番大切なことだと思うからです。国際人とは語学ができる人間のことを言うのではありません。自分の国の歴史や文化を背負って世界で戦うことのできる人間のことを言うのだと私は思います。またそのような人材が育てば地域の産業・コミュニティの活性化にも繋がり、青梅はより素晴らしい市になっていくことになると思います。</p>	総論
24	<p>子育て支援を中心に、「他人の子供も我が子のように愛し、叱れるまちづくり」を作っていけたらと思う。良い事も悪い事もそばにいる大人たちが見て見ぬフリでなく、きちんと関わっていける雰囲気のみちにして頂きたい。まずは「大人も子供もあいさつから…」新町の支援センター「はぐはぐ」だけでなく、市内に特に青梅駅よりも奥多摩方面エリアにも支援センターのような常時安心して利用できる施設を増やしてほしいです。</p>	子育て支援の充実

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
25	<p>畑中に住んでいるので</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムが決壊したらどこへ（どこまで）避難したらよいか ・五小は避難場所で安心かどうか ・ダムが決壊しなくてもどこへ逃げれば安心か 	消防・防災の充実
26	<p>私の住む地域についての現状...生産年齢人口の減少と子育て世代の減少が著しい。今後は、やはり人口増加の対策を取るべきだと思う。例えば 定年後の世代へ一時間半で都心へアクセスできる利便性を謳い移住できる環境作り。(青梅の自然をいかして)子育て世代へは三田地区に子育て支援センターやスーパー＆ドラッグストア&ATMなど設けてほしい。生産年齢世代へは青梅線の見直し、快速列車等を設け通勤時間の短縮を。</p>	住宅の整備・充実 子育て支援の充実 公共交通の充実
27	<p>市の財政改革 無駄の削除（人件費、経費）</p> <p>その他：市民会館のトイレ数が絶対的に少ない常識的な個数を用意してください。改築工事が難しいのであれば仮設トイレを設置すべき。</p>	文化・芸術の振興
28	<p>自然の豊かさ、都内への交通アクセスの良さもありつつ、子育てに十分な環境がありながら、単線故に不便さが出ている西側の地域にもっと人を呼びこむだけの必要な整備をしてほしい。</p> <p>高齢者の多い地域への公共交通を充実させてほしい。PPV対策をしっかりと欲しい</p>	公共交通の充実 農業・林業の振興
29	<ul style="list-style-type: none"> ・梅の木の伐採が多くなり観光客も減少するので長く考え、別のものでも観光客を呼び込む。例えばハーブ園など ・高齢者が多くなるので介護施設、入院できる病院を増やし、入所できない事がないよう取り組むべきです。 ・産婦人科、婦人科、耳鼻科の病院が少なくやむを得ず市外へ行かなければならないので、市内で安心してかかれる病院を増やすべきです。医療機関が充実していれば青梅市の若い世代の住民も増えるのではないのでしょうか。 ・大地震にそなえ今一度確認の為、避難場所、各家庭での備え青梅市で想定外で起こりそうな（山、川）事などをまとめた資料配布 ・通学路の整備（危ないところが多いのでせめてガードレールをつけてほしいです） 	農業・林業の振興 観光の振興 医療の充実・市立総合病院の健全経営 高齢者福祉の充実 消防・防災の充実 道路網の整備
30	<p>高齢化に伴い、それを支える若い世代として不安。医療、福祉を充実させてほしいです。</p>	医療の充実・市立総合病院の健全経営 高齢者福祉の充実
31	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉（高齢者の方に対する） ・梅の木ウイルス対策 	高齢者福祉の充実 農業・林業の振興

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
32	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ・地域産業復興、雇用創出・確保 ・行財政改革 	子育て支援の充実 雇用対策の充実 行政運営の充実 健全な財政運営の確立
33	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原発問題での汚染について 2. 災害時の対応強化 3. 保育園等の預かり施設の充実 4. 各種補助金の拡充 5. 医療関連施設等の体制 	消防・防災の充実 子育て支援の充実 行政運営の充実 医療の充実・市立総合病院の健全経営
34	<p>青梅市は、古い街です。土地も広大で人口も高齢化している傾向です。是非、下記2点を重点施策にするべきと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活気ある産業で雇用が生まれる街 <p>企業を青梅市に誘致して雇用を生む計画を立てて欲しい。雇用が生まれる事で人口も増え、若い人が集まり、活気ある街に変わると思います。それには企業に青梅市に来るメリットを打ち出す必要があると思います。(例：多摩川の水を活用できる、広大な土地を安く提供等) 特に西側が発展できるような長期計画が必要と思われます。</p> ・文化・交流活動がいきづく街 <p>市に施設は、他の市に比べて古く、一定の方しか利用してないように思います。そこに着目していただき、市民の皆さんが集まり易い施設を作る計画を盛り込み、他の市の方にも有料で貸し出すことで財政にもいい影響を与え、人口が増える要素にもなると思います。</p> 	雇用対策の充実 工業の振興 文化・芸術の振興
35	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに優しいまちづくり ・青梅の自然を活かした観光地作りと環境の整備 	子育て支援の充実 自然環境の保全 観光の振興
36	コミュニティバスなど交通弱者対策 保育園建設による待機児童解消や学童保育施設の拡充、 児童館建設など子育て支援策、 商店街の活性化、 雇用対策、	公共交通の充実 子育て支援の充実 商業の振興 雇用対策の充実 地球環境の保全 消防・防災の充実 農業・林業の振興 自然環境の保全

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	自然エネルギー中心への転換、 防災対策の強化、 放射能対策、 住宅耐震化補助、 農業林業対策、 自然環境を守る、 東青梅駅北口のエレベーター設置	
37	子育ての環境づくりについて 子育て中のお母さんから「児童館がほしい」「育休明けに安心して保育園に入れるようにしてほしい」という声を多く聞きます。特に入所については、夏以降要望が多いです。具体的な環境づくりとしてお願いしたいです。 ・児童館の建設 ・年度途中の乳児の保育園入所	子育て支援の充実
38	青梅の広大な山地に放置されている未間伐採や林地残材、畜産農家の糞尿、農地の農産物残滓、住宅から出る生ゴミ、下水汚泥など市内から排出されるすべてのバイオマスについて高含水率バイオマスは嫌気発酵のバイオガス化、低含水率バイオマスは熱分解ガス化させ、バイオガスとして多面的に利用してほしい。このガス化技術は現在では中心の実用技術になりつつあるが、まず手始めに木質チップ燃料製造工場や木質ペレット燃料生産工場を作ってほしい。林地残材を収穫し、地域内に設けられた燃料工場に運び、そこでチップ化して公共施設等で利用することによって地域内経済効果を発揮させることができる。また、燃料チップ供給の前提としてそれを燃やすバイオマスボイラーの製造工場やバイオガスプラントの構想もぜひ取り入れるべきである。これらの取組によってこそ、基本構想素案に記されている「地域経済の活性化と市民の安定的な雇用の確保」(P.18)が初めて現実化されるのである。	地球環境の保全
39	(1)の安全で快適に暮らせるまちのところの高齢者や生活弱者への対応についての事は具体的にどんな政策があるのでしょうか (3)の次代を担う子どもをみんなで育むまちのところ、創造性豊かな人間とありますが、具体的にどんなことに取り組むのでしょうか。東日本大震災を経験した子どもたちは育ったところの復興のために頑張る子どもたちの姿がTVなどで放映されておりますが、青梅の郷土愛という事を感じている子どもたちはどれだけいるのでしょうか。もっと青梅で育った子どもたちが青梅を盛り上げて発展させていくような雇用対策が必要なのでは？	総論
40	安全・快適・高齢者と書きながら。コミュニティバスの運行や東青梅駅北口のエレベーター設置も計画にない。 市庁舎が新しくなったのに最寄りの駅にエレベーターがない。前期での実現を希望します。又、長期の中で駅舎の改築をJRと協議して下さい。	公共交通の充実

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
41	<p>まちのあり方の視点 でコミュニティ活動にふれていますが高齢化社会の中で市民センターを利用しようと思っても「足」がなくてはどうにもならない。センターに気軽に足を運べるようにミニバスの運行などを合わせた計画でないと口先だけの誠意のない参画協働になってしまう。国や都の施策に従うだけでなく市民の声をもっと代表して市民が後押しできる市政を望みます。</p>	公共交通の充実
42	<p>教育と福祉に力を入れてください。</p> <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級を実施すること ・市の学校職員が引き上げられていると聞きました。教育は人の力が大切です。人を減らさないで欲しい。放射汚染から子供を守る対策をしっかりと。 <p>児童館を必ず建設して下さい。</p> <p>福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の高齢化に向けて交通対策（コミュニティバス）をしっかりと立てて下さい。 ・住宅の耐震化を計画通り 100%達成して下さい。 	学校教育の充実 子育て支援の充実 公共交通の充実 消防・防災の充実
43	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て 認可保育園増設で待機児童解消、児童館の建設、公園整備 ・教育 交通費の補助、スクールバスの充実で、経済的、肉体的負担軽減、修学旅行の補助で父母負担軽減。 ・高齢者 コミュニティバスやデマンドバスの運行で不便地域をなくす。孤立死、孤独死などの予防に、見守りネットワークを作る。空き家や空き店舗を改装して地域の高齢者などが触れ合える場の提供 ・医療 75歳以上の医療費は無料に。 ・生活道路の整備 指導を含め、市民要望のあるところは補修するなど身近な道路整備を促進。新規大型幹線道路整備はやめ、既存道路の補修維持管理。 ・地元の企業、商店支援 工事契約は地元発注を増やす。市民が地元で買い物できるような取り組みを進める。 ・農業、観光 後継者問題で農地が危ないので、定年後の市民が利用できるような市民農園制度や地産地消を推進。丘陵、多摩川などを生かした青梅ならではの観光施策を。 	子育て支援の充実 公園・緑地の整備・保全 学校教育の充実 公共交通の充実 高齢者福祉の充実 道路網の整備 商業の振興 工業の振興 農業・林業の振興 観光の振興
44	<p>安心して子供を産み育てる環境づくりの一つとして、青梅市に児童館を複数設置することを強く要望します。理由 1：子供にとって有意義な遊び場が確保されます。（既存の公園や市民センターではこの機能は果たせません。子供の遊ぶ環境は昔とは異なっています。児童館指導員のもと友達や大人とかわることでコミュニケーションを身につけ、電子ゲーム以外のものでも遊ぶ楽しさを経験することができます。現在の子供は様々な面で経験不足なのです。遊ぶことにも支援が必要です。）</p>	子育て支援の充実

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	理由 2：乳幼児を抱える家庭の居場所相談の場が確保されます。(現在新町に子育て支援センターがあります。私も子供が小さい時に毎日のように通うことで、子育て仲間ができました。相談員や支援スタッフに小さな悩み事を相談することができて心強かったです。子供の健康診断の時に相談事を書きましたが、それに対応してくれたのは数カ月後というところもとなさでした。)理由 3：他世代間の交流促進の場ができる。(そこへ行けば乳幼児がいる、児童がいる、ということで多世代間交流の場が確保されます。)	
45	<p>【他市に先駆けた活力ある地域を目指して】</p> <p>1. 地域や内容を限定した施策(チャレンジ施策)を積極的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の市政運営を一般企業に務める立場から見ると、安全運転に傾注しすぎて面白味に欠け、他市との競争に勝てる状況にはないと感じます。ぜひ、視点を転換し、チャレンジ施策を行っていただきたいと思います。 <p>2. みんなが参画し協働できるまちの実現へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的には周囲の援助を受けて生活する立場と捉えられる老年層や障がいを持った方が幸福感を持って暮らせるまちが、一般市民も幸福に暮らせるまちであると思います。老年層な方の中でも金銭的に余裕がある方には財政負担には協力いただきながら、存在感を感じられる地域活動等を推進して幸福感を高めていくのが理想と感じます。 	<p>総論 行政運営の充実 協働・連携の推進</p>
46	<ul style="list-style-type: none"> 子どものための施策の充実 新しい公共を広げるためのしくみを充実させる 他市がやって成果を上げている施策を、青梅市でもどんどん模倣する 	<p>子育て支援の充実 行政運営の充実</p>
47	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道政策 医療政策 介護政策 産業政策 スポーツ政策 	<p>公共交通の充実 医療の充実・市立総合病院の健全経営 高齢者福祉の充実 農業・林業の振興 工業の振興 商業の振興 観光の振興 スポーツ・レクリエーションの充実</p>
48	<ul style="list-style-type: none"> 内部部局の整備(条文改正を含めて) <p>『素案』は作文であり、中身も分散化してわかりにくい。多分、関係課からの作文を編集したものと思われる。それよりもまず、青梅市の業務の相互関係を明らかにし、必要があれば管理組織を改善すべき。</p> <p>「青梅市図書館条例」によると、青梅市図書館の運営に責任をもつのは教育委員会であって図書館長ではない。また図書</p>	<p>行政運営の充実</p>

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	<p>館諮問委員会も、図書館法では図書館長の諮問委員会であるが青梅の上記条例では教育長の諮問委員会。これは、全国的にみてもその稀な規定であり、法規上では、教育委員会が機関の実務について大きな権限をもっている。そのような自治体は、広報でいくら市民の自治とか協業を提唱しても、どの程度具体的に考えているのかは、上記の例でも明らかである。</p> <p>市民の協業を促すまえに、行政関係者間の協業を促進することが望ましい。</p>	
49	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が外出しやすいように、バス停の近くや買い物道路にベンチを設置する。羽村市がおこなっているようなコミュニティバスの運行。 ・一人暮らしのお年寄りの安否確認の具体化と推進。 ・市民センターを地域の交流拠点として活用（P19）するならば、エレベーターの設置や閲覧室をもうけるなどみんなが使いやすい市民センターにつくり変える必要があります。 ・少、中、大ホールを備えた文化会館の建設。 ・共働きの世帯が増えています。学校から帰ってきた子どもたちが安全に、教養を身につけられるような児童館の建設が必要です。 	<p>公共交通の充実 高年齢福祉の充実 市民参画・活動の促進 文化・芸術の振興 子育て支援の充実</p>
50	<p>1. 活性化基盤整備</p> <p>(1) 公共交通・道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性向上（青梅線：東京への時間短縮・直通運転の増加・車両編成の見直し等） ・横田空港の実現 ・道路は長期計画の基本施策を引継ぎ、より進歩させる。（新青梅街道延伸、都市計画道路整備、健康と歴史・文化の路整備、バリアフリー化等） <p>(2) 市街地整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールを中心とした公的機関複合施設の整備と住居との融合 ・碎石跡地の有効活用 ・市内業者を有効活用した整備と保守 <p>(3) 地域情報化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネット環境等の充実したインフラを整備 ・地域見守りシステムの整備（高齢者・障害者等） <p>(4) 行政運営</p>	<p>公共交通の充実 道路網の整備 文化・芸術の振興 市街地の整備 協働・連携の推進 情報化の推進 高年齢福祉の充実 障害者福祉の充実 行政運営の充実 健全な財政運営の確立 消防・防災の充実 総論 広域行政の推進 商業の振興 工業の振興 雇用対策の充実 男女平等参画の推進 観光の振興</p>

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	<ul style="list-style-type: none"> ・歳入と歳出のバランスのとれた運営（税込増をめざし、地域経済活性化策の実現） ・震災等の際に即座に対応できる行政 ・長期計画と別に中期産業振興プラン（3年間位）の策定 ・競技場等ハード整備については広域行政圏を視野に入れる ・地域経済活性化につながる持続可能な入札・契約制度の確立 ・市職員の民間派遣・給与制度の見直し <p>2. 経済活性化方針・施策</p> <p>（1）商業・サービス業活性化</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者までが集い、“飲食”・“買物”・“娯楽”・“コミュニケーション”が出来る商店街 ・気軽に1日遊べる商店街。そしてまた来たくなる商店街 <p>施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化事業 ・空き店舗対策事業の実施（専門店の誘致・チャレンジショップ等） ・のれん分け事業等を含む承継者の育成 ・全商店街にコミュニティ施設設置 <p>（2）工業活性化</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内で安全で安心して事業ができるまちづくり ・工業集積地域からの新事業創出をめざして <p>施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内電力の確保のための電力施設整備（「2020年の東京」の施策一部取り入れ） ・地域内事業所の留保対策 ・地域内への中堅企業や中小企業（小規模企業含む）の誘致 ・地域内雇用促進、特に子育て世代の女性雇用環境整備 	

No.	重点的に取り組むべき施策への意見の概要	対応する分野
	<p>(3) 観光活性化</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光入込み客数の増加（200万人から220万人へ） ・住民・来訪者問わず、何度も行きたくなる観光名所（観光青梅のブランド化） <p>施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化・名所・旧跡・芸術を活かした観光開発 ・商業と観光を一体化した商店街整備（昭和レトロ・映画看板のまち） ・観光施設の整備（休憩施設やトイレ等） ・おもてなしの向上 	